

札幌大会の紹介

SIRWEC2002 札幌委員会 事務局長 加治屋 安彦

はじめに

2002年1月に札幌で開催される第11回国際冬季道路会議(PIARC)については、各方面に向けた広報活動が活発に行われているので、既に本誌読者のほとんどの方がご存じのことと思われます。しかし、同時開催される国際道路気象会議(SIRWEC)についてはまだご存じない方も多いのではないのでしょうか。そこで、この紙面を借りて、この会議の経緯や概要について紹介させていただきたいと思えます。

1. 国際道路気象会議 (SIRWEC) とは？

国際道路気象会議(SIRWEC)は、道路気象に関わる研究者・技術者間で最新技術の情報交換を行う場として2年ごとに開催しているものです。この会議では、道路気象予測や気象測定技術に加えて、道路利用者への気象情報の提供などについて討議し、道路気象に関わる様々な技術の向上を目的としています。

SIRWECは1984年にデルフト&ハーグで第1回会議が開催されて以来、表-1に示すとおり、約2年ごとに開催されて、今度の札幌大会が第11回目となっています。

なお、国際冬季道路会議(PIARC)の開催年には同時開催されており、今回の札幌大会もPIARCとの同時開催となっています。

表-1 過去のSIRWEC開催地

	開催年	都市	国名
第1回	1984	デルフト&ハーグ	オランダ
第2回	1985	コペンハーゲン	デンマーク
第3回	1986	タンペレ	フィンランド
第4回	1988	フィレンツェ	イタリア
第5回	1990	トロムソ	ノルウェー
第6回	1992	ミネアポリス	アメリカ
第7回	1994	ズィーフェルト	オーストリア
第8回	1996	バーミンガム	イギリス
第9回	1998	ルレオ	スウェーデン
第10回	2000	ダボス	スイス
第11回	2002	札幌	日本

2. 会議のトピックスについて

会議のトピックスとしては、以下のような事項について研究発表が行われます。

1) 気象と道路管理方針・政策／費用便益

例えばウィンターインデックス(冬の厳しさを指標化したもの)などに基づく凍結防止剤の散布量管理・削減検討など。

2) センサー技術と機器／道路気象情報システム／ITS技術

例えば精度の高い路面凍結のセンサーや予測システム、雪氷作業支援システムやITSへの応用など。

3) 気象予測技術

例えば新しい冬季道路気象の予測手法開発、サーマル・マッピング(路面凍結に関連する路面の熱的性質の測定)や気象レーダの活用など。

4) 厳しい気象条件

吹きだまりや吹雪による視程障害、霧、砂あらしなど、それぞれの地域に特有な厳しい気象条件への対応など。

5) 一般道路気象

その国の冬季道路気象や特徴的な道路雪氷対策技術の紹介、道路気象全般に適用される新技術の開発など。

6) 利用者への道路気象情報提供

冬季の路面状況や降雪状況、吹雪による視程障害状況などを道路利用者伝える技術。特に最近ではインターネットやモバイル機器の活用なども含む。

会議で発表される方の所属は非常にバラエティに富みますが、過去の開催事例からは、それぞれの国の中央政府や州・自治体などの道路行政機関・研究機関の技術者・研究者、並びにそれぞれの国の気象機関や民間気象会社の技術者・研究者が多く見られます。今回の札幌大会では、16カ国から48件の研究発表が予定されており、発表論文リストは後述のホームページに掲載しているのご参照いただければ幸いです。

3. 会議の日程・会場について

会議はPIARCの直前に以下の日程で行われます。ちょうど、PIARCと続けて参加するのに都合のよい日程としています。また、会場は、初めて札幌に来られる方にも分かりやすいようにと、札幌駅からほど近い京王プラザホテル札幌を選定しています。

SIRWECの会議日程

期日：2002年1月26日(土)～28日(月)

会場：京王プラザホテル札幌

札幌市中央区北5条西7丁目

会議日程(予定)：

- | | |
|----------------|-----------|
| 1月26日(土) 18:00 | 登録 |
| 19:00 | 歓迎レセプション |
| 1月27日(日) 09:00 | 登録 |
| 09:30 | セッション |
| 12:00 | 昼休み |
| 13:30 | セッション |
| 17:30 | SIRWEC理事会 |
| 19:30 | 懇親会 |
| 1月28日(月) 09:00 | セッション |
| 12:00 | 閉会 |

なお、会議の使用言語は英語となっています。また、会議参加費は、2001年12月15日までの申し込みの場合25,000円、この日以降の申し込みの場合30,000円を予定しています。

4. 会議に関心を持たれた方へ

研究発表の申し込みについては既に予備登録を締め切っておりますが、48編という、これまでの大会での発表件数を大幅に超える申し込みに実行委員会ではうれしい悲鳴をあげています。

今回の会議は、PIARC同様日本では初めての開催であり、しかも21世紀最初の会議として意義深いものになるものと思われれます。世界各国の道路気象技術の最新成果が発表されるものと関係者一同大きな期待を寄せています。

世界中の最新の道路気象技術について間近に見聞きできる絶好の機会ですので、是非多くの方々にご参加いただきますようお願いいたします。

会議への参加に関心を持たれた方は、事務局まで電話やファクス、メールなどで是非ご一報いただきたいと思ひます。

10月頃に会議の最終案内を送付する予定です

が、是非この送付先リストに読者の皆様のお名前を加えさせていただければ幸いです。

また、ホームページ(図-1)には最新の情報を順次掲載していきますので、是非アクセスしていただければ幸いです。



図-1 SIRWEC2002札幌大会の公式ホームページ

おわりに

国際道路気象会議(SIRWEC)は、まさに北海道の寒地技術交流にふさわしい国際会議です。21世紀の北海道の技術開発シーズを探る上でも参考になる情報がたくさん得られるものと思われれます。できるだけ多くの方々に興味を持っていただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

※会議に関するお問い合わせ先：

大会事務局 加治屋安彦

北海道開発土木研究所

〒062-8602 札幌市豊平区平岸1-3-1-34

Tel: 011-841-5553 Fax: 011-841-9747

E-mail: sirwec2002@ceri.go.jp

SIRWEC2002札幌大会公式ホームページ：

<http://www2.ceri.go.jp/sirwec2002/>